

令和元年度（第2回）秦野市環境審議会【要旨】

と き 令和2年2月25日（火） 午後2時～3時35分
ところ 秦野市役所 西庁舎3階会議室

2:00

事務局

開会

定刻となりましたので、ただいまより「令和元年度（第2回）秦野市環境審議会」を開会いたします。

（以下略）

議事

協議(1)：第3次秦野市環境基本計画書について

1. 前回会議のおさらい
2. 現行計画の進行管理

（主な質疑[未来像1]）

委員

Q：これは令和2年度までの計画ですよね。そうすると、1-4「地下水関係」については、数値目標が未達成であることから、見直す可能性が高いということでしょうか。

また、達成している目標については、踏襲していくお考えですか。

事務局

A：見直しの範囲については、庁内会議や担当課で議論のうえ決定しますが、概ねそのように捉えています。ただ、計画初年度で達成できている目標については、PDCAサイクルの観点からも見直しに該当するものと捉えております。

委員

Q：生き物の里については、さらに指定していくとの検討は無いのでしょうか。

事務局

A：実は、前期計画（H23～H27）では新たな指定地を数値目標化しておりましたが、保全(存)や管理、あるいは多面的利用に注力するような施策とするため、後期計画（H28～R2）では活動回数を数値目標化した経過がございます。

委員

Q：1-4「河川の環境基準達成率（94%）」について、通常COD（化学的酸素要求量）75%値で判断すると思うのですが。また、BOD（生

- 物化学的酸素要求量)でもないですね。
- 事務局 A：河川環境基準の生活部分の全項目の達成を指標とし、一部河川について大腸菌郡数が達成できない状況を差し引き94%と設定しております。
- 委員 Q：わかりました。
- 2-3「大気環境基準達成率(100%)」についても同様の考え方だと思いますので、今後この指標を踏襲するのであれば、どの部分(値)を含んだ設定であることを明確にしたほうが良いと思います。
- 事務局 A：参考にさせていただきます。
- (主な質疑[未来像2])
- 委員 Q：気候変動への取組みについて、どのように捉えているのですか。
- 事務局 A：現行計画の策定当初においては、気候変動への適応に関する情報が乏しくいものでしたので、色濃くは反映されておりませんが、今後の取組みでは当然ながら取り入れていく方向性であると考えております。
- ただ、気候変動への適応と言いましても、防災的側面(風水害対策)、社会インフラ的側面(上下水道整備)、農林業的側面(農作物・健康被害)など、多分野に亘るものですので、現時点では、庁内会議においても所管課への情報提供程度に留まっておりますが、具体的な取組みを反映できればと考えております。
- 委員 Q：環境基本計画で、そこまで踏み込みますか。
- すべてを取り入れるとなると、ボリュームが膨大になるかと思しますので、別体系で作成された方が良いかと思っております。
- 事務局 A：確かに担当課それぞれ温度差はあろうかと思っておりますが、共通理解(視点)としては取り入れていきたいと考えております。
- (主な質疑[未来像3])
- 委員 Q：不法投棄物についてですが、通報による撤去量ですか。
- また、数値目標の見方としては、減少させることが良い評価となるの理解でよろしいのですよね。
- 事務局 A：通報によるもの、パトロールによるもの、すべての撤去量が含まれております。
- 目標の見方はそのとおりでございます。ですが、これについては、昨年の

審議会でも議論の対象になったのですが、結局のところ撤去しているゴミはの多くは、大昔に捨てられたゴミであつたりと、どの視点をもって目標数値化していくことが適切であるのか等、担当課とも協議をしているものでございます。

つまり、撤去作業を行わないと、撤去量自体は減少するので目標が達成されてしまうのです。

(主な質疑[未来像4])

委員 Q：4-3「自動車騒音の評価区間」について、市の要望によって増やせるものなのでしょうか。

事務局 A：5年毎で見直しを図るものです。現行の区間は権限委譲により、県から引き継いだものです。

(主な質疑[未来像5])

委員 Q：数値目標達成率47%とはどういうことでしょうか。

事務局 A：この数値目標以外に掲げております数値目標(17項目)における現行目標の達成率を表しています。※17項目中8項目が達成

委員 Q：事務スケジュールにあったWEBアンケートの状況は、どうなっているのですか。(推進体制における数値目標として、参考にできればと思います。)

事務局 A：昨年11月に1回、本年に入りまして今月2回目を実施しております。トータル数は6問でして、結果は追ってご報告いたします。

委員 Q：ワークショップはどういった対象で、どのように募集するのですか。

事務局 A：広報をはじめ各種媒体で募集し、学生にも声をかける予定です。

事務局 報告ア：秦野市里地里山の木質バイオマスを活用した脱炭素型地域循環システム形成事業について

1. 前回会議のおさらい

2. 事業概要の説明

(質疑無し)

事務局 報告イ：次期秦野市緑の基本計画について

1. 前回会議のおさらい

2. 事業概要の説明

(質疑無し)

事務局

報告ウ：令和元年度版秦野市環境報告書について

本報告書は、第1章（計画の概要）、第2章（環境の現況と課題）、第3章（5年後に向かって）の3章立てで構成しております。メインなる部分は、第3章（P25～）でございます。内容は、先ほどご協議いただいた「進行管理シート」の内容と同じものがまとめられてございます。

本来ならば、各施策ごとの数値や達成状況の報告につきまして、その詳細を述べさせていただいておりましたが、本日は議事におきまして、協議いただいております、報告内容が重複してしまいますので割愛させていただければと思います。

(質疑無し)

閉会

事務局

委員の皆様のご協力のもと、すべての議事を終了できましたこと、重ねてお礼申し上げます。ご協力、ありがとうございました。

これをもちまして、本年度の審議会を閉会させていただきます。

なお、委員の皆様におかれましては、任期の2年が来月の11日で満了となります。任期満了のぎりぎりまで宿題をお渡しし大変恐縮でございますが、何卒ご協力いただきますようお願いいたします。また、次期委員の推薦等に関しましては、改めてご依頼させていただきたいと考えておりますので、併せてご協力をよろしくお願いいたします。

2年間、本市環境行政にご協力いただきまして、ありがとうございました。

3:35

終了